

●REPA 第14回定期総会 (2019-6-1)

2019年6月1日(土)第14回定時総会は文京区湯島の全国家電会館1階A(大会議室)にて開催され、定足数の確認、議長選出、議事録署名人の選出、代表理事挨拶の後、

第1号議案:平成30年度活動報告、第2号議案:平成30年度決算報告、第3号議案:役員改選、第4号議案:定款変更の各審議・承認が行われました。また報告事項(第1回理事会において審議承認済)として令和元年度活動方針、令和元年度活動予算の説明がなされ、総会は無事終了しました。皆様のご協力に感謝致します。

なお、総会後の第2回理事会にて代表理事に尾園次郎、副代表理事に奥村実が推薦・承認されましたので引き続きご支援の程お願い致します。



総会式次第

総会風景

議長富成理事(左)、尾園代表理事

●REPA 講演会 (2019-6-1)

2019年6月1日(土)第14回定時総会後の記念講演会は文京区湯島の全国家電会館1階A(大会議室)にて開催され、2つの講演がされました。

最初の講演は、光と風の研究所代表堀内道夫(当協会理事)による「再生可能エネルギーと防災と土屋先生のご紹介」で、最新の国内外再生可能エネルギー(RE)の実態と、REに関連した防災、危機管理対応についてでした。

基調講演として、公益財団法人リバーフロント研究所土屋信行氏による、「国難をまねく大水害」として、広島市、茨城県常総市、岩手県などの大雨洪水を事例にあげられ、日頃私たちが気にしている内容ばかりで、改めて普段の生活に対する備えを、参会者が考え直す機会になったと思います。日本(東京、横浜)は保険会社による危険度指数が他国に比べて数10倍以上違うこと、災害対策基本法60における「避難勧告」「避難指示(緊急)」「避難準備・高齢者等避難開始」の理解が不足して、まだまだ大丈夫と非難(水平避難、垂直避難など)しない人が多いことなど、多々反省する点がありました。



講演会風景



堀内先生講演



土屋先生講演

講演終了後、16:30 より「はなの舞 湯島」にて懇親会が行われ、土屋先生を中心に講演会では出来なかった質問、お聞きできないお話など有意義な話し合いがなされました。参会者の盛り上げに感謝いたします。

●季刊誌「環境施設」での REPA 活動の紹介（2019-6-8）

季刊誌「環境施設」で、2018年12月号から4回シリーズ(一年間)で、REPAの活動を「再生可能エネルギーの地域貢献への挑戦」と題して紹介しております。

第三回は、環境施設 156号(p58～62 2019年6月発行)で、佐藤茂夫理事が「地域資源・廃棄物のメタン発酵処理における「見える化」として、国内外で進めている小容量、地域密着型メタン発酵処理を紹介しています。わが国でもメタン発酵に関心が集まっているが、いろいろな問題点を内包している。そうした「見えにくい」部分を「見える化」することもNPOの大切な役割と理解しています。是非ご一読ください。

連載の詳細は、図書・執筆・講演を参照ください。

発刊元の公共投資ジャーナル社HPの「環境施設」もご参照ください。

<http://www.kt-jjp/004mokuji.html>